特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人

の書類記号 G90TOKU



今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。

国際出願番号 PCT/JP2004/011802	国際出願日 (日. 月. 年) 11.08.20	優先日 (日.月.年) 12.08.2003
·	<u> </u>	G02B5/23, G02C7/10 // C08F290/02, C09K9/02
出願人 (氏名又は名称) 株式会社トクヤマ		
	·	
		と国際予備審査報告である。
法施行規則第 57 条(P.C T 36 条)σ.		
2. この国際予備審査報告は、この表紙を	と含めて全部で3	ぺージ からなる。
 3. この報告には次の附属物件も添付され	いている。	
a. 附属書類は全部で	ページである。	
F 47-2- 20-24-0#	ᅄᆉ	***************************************
·		
第 I 欄 4 . 及び補充欄に示 国際予備審査機関が認定し		出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの
b. 電子媒体は全部で		3 ページからなる。
配列表に関する補充欄に示す。 ブルを含む。(実施細則第 80		とな形式による配列表又は配列表に関連するテー
4.この国際予備審査報告は、次の内容を		
第 I 欄 国際予備審査報第 I 欄 優先権	ときの基礎	
	E又は産業上の利用可能性について	の国際予備審本報告の不作成
第IV欄 発明の単一性の		の国际」開発互称ロッパドル
	,	業上の利用可能性についての見解、それを裏付
けるための文南		
第VI欄 ある種の引用文		
第VII欄 国際出願の不備	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
第四個 国際出願に対す	る意見	
L	· · ·	

国際予備審査の請求書を受理した日 27.12.2004	国際予備審査報告を作成した日 30.06.2005
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員) 4 J 8930
日本国特許庁 (I PEA/JP) 郵便番号100-8915	佐々木 秀次
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内線 3457

第I欄	報告の基礎		
1. = 0)国際予備審査報告は、	下記に示す場合を除くほか、国際と	出願の言語を基礎とした。
	この報告は、	語による翻訳文を基礎とし	た。
		出された翻訳文の言語である。	
		₹23.1(b)にいう国際調査	
	P C T規則12.4にV		and the second s
Ī	PCT規則55.2又に	t55.3にいう国際予備審査	
2 - 0	報告け下記の出願書類	を基礎とした。 (法第6条(PC)	T14条) の規定に基づく命令に応答するために提出され
た差替え	と用紙は、この報告にお	いて「出願時」とし、この報告に	系付していない。)
V	出願時の国際出願書類	Ī	
· F	明細書	•	
قمده.		ページ、出願時	に提出されたもの
	カ	ページ*	付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第 第	ページ*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの
-			
		vOC (1) eminal	277相山されなもの
,			に促出されたもの 19条の規定に基づき補正されたもの
	免 笠		付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第		
Г	——		
	第	ページ/図 、出願問	作に提出されたもの
	第	ページ/図 *、	ドに提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
•	第	ページ/図*、	付けで国際予備番金機関か受埋したもの
	配列表又は関連するデ	ープル	
	配列表に関する補	f充欄を参照すること。	
		•	
3.	補正により、下記の書	類が削除された。	
	III om the		-9. 3°
	□ 明細書 □ 請求の範囲	第 第	 「面
	図面	第 	
	配列表(具体的に	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	配列表に関連する	テーブル(具体的に記載すること)
, ,		-, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	たり、Niプレニリン特子がURSはほかは7月この佐田と初
4.]:			れかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超ったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))
	7. C C 4 0/C G 0/ C BG 0/	940907 C C07mmm 240/27	7/2 007 C C (1 MA C) C (1 C 1 MA C) (1 C 1 MA C)
	明細書	第	
	請求の範囲	第	
	図面 図面	第	ページ/図
	□ 配列表(具体的に □ 配列表に関連する	・記載すること) テーブル(具体的に記載すること)
·	1ロンがに内座する		
* 4	に該当する場合。その甲	紙に "superseded" と記入される	ことがある。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/011802

. 見解		•			
如: H1 H4 (きせの英田		- E		有
新規性(N)	請求の範囲		1-5		
Same and the same	請求の範囲		·	<u></u>	無
進歩性(IS)	請求の範囲		1-5		有
÷ .	請求の範囲				無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲		1-5		有
	請求の範囲		. `	Ÿ	無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

請求の範囲1に係る発明は、国際調査報告で引用された何れの文献にも開示されておらず、新規性及び進歩性を有する。

特に、(1) ラジカル重合性基を有しない、シラノール基又は加水分解することによりシラノール基を生成する官能基を有するケイ素化合物、(2) 分子中にエポキシ基を有するラジカル重合性単量体を含むラジカル重合性単量体、(3) フォトクロミック化合物をそれぞれ特定量含有する硬化性組成物は、何れの文献にも開示されていない。

(なお、文献1に記載のケイ素化合物は、ラジカル重合性基(メタクリロイルオキシ 基)を有している。)

<先行文献>

文献 1: JP 2003-128713 A (株式会社トクヤマ)2003.05.08 文献 2: JP 2002-341297 A (ホーヤ株式会社)2002.11.27

文献 3: WO 2001/002449 A2 (PPG INDUSTRIES OHIO, INC.) 2001.01.11

文献4: JP 5-34649 A (ホーヤ株式会社)1993.02.12